

2010年度第3四半期
決算説明資料

2011年2月4日

旭化成株式会社

1. 2010年度第3四半期実績

主要連結決算数値 P4

連結損益計算書 P5

特別損益 P6

連結貸借対照表 P7

連結キャッシュ・フロー計算書 P8

セグメント別売上高・営業利益 P9～14

2. 2010年度通期予想

当期業績予想 P16

セグメント別売上高 P17

セグメント別営業利益 P18

3. 参考資料

セグメント別業績推移 P20～21

セグメント別海外売上高 P22

セグメント別概況 P23～31

1. 2010年度第3四半期実績

主要連結決算数値

(億円)

	09年度		10年度	
	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月
売上高	3,641	10,227	3,939	11,587
営業利益	220	400	310	945
経常利益	230	380	302	898
四半期純利益	164	206	218	502

10-12月比較 対前年同期		4-12月比較 対前年同期	
増減額	増減率	増減額	増減率
299	8.2%	1,360	13.3%
90	40.9%	546	136.5%
73	31.7%	518	136.1%
54	33.2%	297	143.9%

10年度 前回予想*	進捗率
b	(a/b)
16,080	72.1%
1,150	82.2%
1,105	81.3%
585	85.9%

<前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ:¥/kl)	42,500	39,000	45,100	45,833
為替レート (相場平均:¥/US\$)	90	94	83	87

	10/3月末	10/12月末	増減
総資産	13,689	14,241	552
自己資本	6,333	6,576	243
有利子負債残高	2,646	2,475	-171
D/Eレシオ	0.42	0.38	-0.04

* 2010年11月2日発表の業績予想

連結損益計算書

AsahiKASEI

(上段: 百分比、% 下段: 金額、億円)

	09年度		10年度		10-12月比較		4-12月比較	
	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月	増減	増減率	増減	増減率
売上高	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	299	8.2%	1,360	13.3%
売上原価	75.2%	76.4%	74.2%	73.8%	187	6.8%	745	9.5%
売上総利益	24.8%	23.6%	25.8%	26.2%	112	12.4%	616	25.5%
販管費	18.8%	19.7%	17.9%	18.0%	22	3.2%	70	3.5%
営業利益	6.0%	3.9%	7.9%	8.2%	90	40.9%	546	136.5%
営業外損益	10	-19	-8	-47	-17		-28	
(内、金融収支)	(-3)	(-4)	(1)	(0)	(4)		(4)	
(内、持分法投資利益)	(5)	(3)	(11)	(22)	(5)		(18)	
(内、為替差損益)	(10)	(-12)	(-12)	(-47)	(-21)		(-35)	
経常利益	6.3%	3.7%	7.7%	7.8%	73	31.7%	518	136.1%
特別損益	46	-0	7	-125	-39		-125	
税前利益	7.6%	3.7%	7.9%	6.7%	34	12.4%	393	103.3%
法人税等	-108	-172	-88	-257	20		-85	
少数株主損益	-4	-3	-4	-14	0		-11	
四半期純利益	4.5%	2.0%	5.5%	4.3%	54	33.2%	297	143.9%

特別損益

(億円)

	09年度		10年度		増減	
	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月
投資有価証券売却益	—	1	3	3	3	2
固定資産売却益	—	0	4	4	4	4
貸倒引当金戻入額	—	—	2	2	2	2
持分変動利益	2	2	—	—	-2	-2
事業譲渡益	—	—	8	8	8	8
仲裁裁定金*	65	65	—	—	-65	-65
特別利益	67	68	16	16	-51	-52
投資有価証券評価損	6	13	0	4	-6	-9
固定資産処分損	4	17	7	30	3	13
減損損失	0	1	0	1	0	-0
環境対策費	1	12	0	7	-0	-5
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	—	—	12	—	12
事業構造改善費用	11	25	1	87 [†]	-9	62
特別損失	21	68	9	141	-12	73
特別損益	46	-0	7	-125	-39	-125

* 米CoTherix社からの仲裁裁定金

† アンモニア、ベンゼンの生産停止に伴う費用等

連結貸借対照表

(億円)

	10/3月末	10/12月末	増減		10/3月末	10/12月末	増減
流動資産	6,604	7,463	859	負債	7,242	7,542	300
現金及び預金	939	939	-0	流動負債	4,348	4,783	435
受取手形及び売掛金	2,389	2,806	416	固定負債	2,894	2,758	-135
棚卸資産	2,511	2,876	365	純資産	6,447	6,699	252
その他	765	843	78	株主資本	6,129	6,493	365
固定資産	7,085	6,778	-307	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	4,475	4,277	-198	資本剰余金	794	794	-0
無形固定資産	347	308	-39	利益剰余金	4,321	4,686	365
投資その他の資産	2,263	2,193	-70	自己株式	-20	-21	-1
				評価・換算差額等	205	83	-121
				少数株主持分	113	123	9
資産合計	13,689	14,241	552	負債純資産合計	13,689	14,241	552

連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	09年度		10年度	
	10-12月	4-12月	10-12月	4-12月
営業活動によるキャッシュ・フロー①	340	866	317	810
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-210	-747	-169	-543
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	130	119	148	267
財務活動によるキャッシュ・フロー④	-9	-269	-204	-322
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	-3	3	4	-17
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	117	-147	-52	-73

現金及び現金同等物の期首残高⑦	720	981	919	931
非連結子会社の連結化に伴う増加額⑧	-	4	-	9
現金及び現金同等物の四半期末残高(⑥+⑦+⑧)	837	837	867	867

セグメント別売上高・営業利益(1)

(第3四半期・10-12月比較)

(億円)

	売上高			営業利益		
	09年度 10-12月	10年度 10-12月	増減	09年度 10-12月	10年度 10-12月	増減
ケミカル	1,590	1,899	309	103	166	62
住宅	960	905	-55	67	79	12
医薬・医療	296	305	9	29	35	6
繊維	259	271	12	-0	13	13
エレクトロニクス	374	384	10	26	32	5
建材	124	137	14	11	13	2
その他*	38	37	-0	1	2	1
消去又は全社	-	-	-	-17	-28	-11
合計	3,641	3,939	299	220	310	90
海外売上高 (比率)	904 24.8%	1,090 27.7%	186 2.8%			

* 10年度第1四半期より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。また、「サービス・エンジニアリング等」セグメントに含めていた一部の連結子会社の営業費用を10年度第1四半期より「消去又は全社」に移管。(売上高への影響はなく、営業利益への影響は軽微。)

セグメント別売上高・営業利益(2)

(9ヶ月累計・4-12月比較)

(億円)

	売上高			営業利益		
	09年度 4-12月	10年度 4-12月	増減	09年度 4-12月	10年度 4-12月	増減
ケミカル	4,523	5,549	1,026	218	539	321
住宅	2,537	2,640	103	108	180	71
医薬・医療	859	883	24	63	76	14
繊維	746	817	71	-29	36	65
エレクトロニクス	1,059	1,216	157	55	139	84
建材	369	371	2	17	24	7
その他*	134	111	-22	12	10	-2
消去又は全社	-	-	-	-43	-58	-15
合 計	10,227	11,587	1,360	400	945	546
海外売上高 (比率)	2,665 26.1%	3,341 28.8%	676 2.8%			

* 10年度第1四半期より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。また、「サービス・エンジニアリング等」セグメントに含めていた一部の連結子会社の営業費用を10年度第1四半期より「消去又は全社」に移管。(売上高への影響はなく、営業利益への影響は軽微。)

セグメント別売上高増減要因 (第3四半期・10-12月比較)

(億円)

	09年度 10-12月	10年度 10-12月	数量差	売値差	その他差		計
					うち為替因		
ケミカル	1,590	1,899	110	99	-26	100	309
住宅	960	905	69	20	-	-144	-55
医薬・医療	296	305	25	-21	-6	5	9
繊維	259	271	20	-1	-5	-6	12
エレクトロニクス	374	384	51	-41	-5	0	10
建材	124	137	15	-1	-	0	14
その他*	38	37	-0	0	0	0	-0
合 計	3,641	3,939	289	55	-43	-46	299

* 10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。

セグメント別営業利益増減要因 (第3四半期・10-12月比較)

(億円)

	09年度 10-12月	10年度 10-12月	数量差	売値差		コスト差等	計
					うち為替因		
ケミカル	103	166	15	99	-26	-51	62
住宅	67	79	26	20	-	-34	12
医薬・医療	29	35	21	-21	-6	6	6
繊維	-0	13	2	-1	-5	12	13
エレクトロニクス	26	32	28	-41	-5	18	5
建材	11	13	1	-1	-	2	2
その他*	1	2	1	0	0	-1	1
消去又は全社	-17	-28	-	-	-	-11	-11
合計	220	310	94	55	-43	-59	90

* 10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。また、「サービス・エンジニアリング等」セグメントに含めていた一部の連結子会社の営業費用を10年度第1四半期決算より「消去又は全社」に移管。(売上高への影響はなく、営業利益への影響は軽微。)

セグメント別売上高増減要因 (9ヶ月累計・4-12月比較)

(億円)

	09年度 4-12月	10年度 4-12月	数量差	売値差		その他差	計
					うち為替因		
ケミカル	4,523	5,549	328	444	-76	254	1,026
住宅	2,537	2,640	162	40	-	-99	103
医薬・医療	859	883	40	-47	-18	31	24
繊維	746	817	101	1	-14	-31	71
エレクトロニクス	1,059	1,216	296	-140	-18	0	157
建材	369	371	7	-5	-	0	2
その他*	134	111	-22	0	0	0	-22
合計	10,227	11,587	912	293	-126	156	1,360

*10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。

セグメント別営業利益増減要因 (9ヶ月累計・4-12月比較)

(億円)

	09年度 4-12月	10年度 4-12月	数量差	売値差	うち為替因	コスト差等	計
ケミカル	218	539	65	444	-76	-188	321
住宅	108	180	52	40	-	-21	71
医薬・医療	63	76	37	-47	-18	24	14
繊維	-29	36	27	1	-14	37	65
エレクトロニクス	55	139	155	-140	-18	69	84
建材	17	24	0	-5	-	12	7
その他*	12	10	0	0	0	-2	-2
消去又は全社	-43	-58	-	-	-	-15	-15
合計	400	945	337	293	-126	-84	546

*10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。また、「サービス・エンジニアリング等」セグメントに含めていた一部の連結子会社の営業費用を10年度第1四半期決算より「消去又は全社」に移管。(売上高への影響はなく、営業利益への影響は軽微。)

2. 2010年度通期予想

当期業績予想

(億円)

	09年度			10年度今回予想					10年度 前回予想*
	上期	下期	計	上実績	10-12月		下予想	計	
					10-12月	1-3月			
売上高	6,586	7,749	14,336	7,648	3,939	4,443	8,382	16,030	16,080
営業利益	180	397	576	635	310	255	565	1,200	1,150
経常利益	151	413	564	596	302	242	544	1,140	1,105
当期純利益	42	210	253	285	218	68	285	570	585

<前提>

ナフサ価格 (国産ナフサ:¥/kl)	37,250	45,100	41,175	46,200	45,100	52,000	48,550	47,375	45,600
為替レート (相場平均:¥/US\$)	95	90	93	89	83	80	81	85	85

	09年度	10年度 予定
一株当たり年間配当金	10円	11円
配当性向	55.3%	27.0%

* 2010年11月2日発表の業績予想

セグメント別売上高

(億円)

	09年度			10年度今回予想					10年度 前回予想 [†] b	増減 a-b
	上期	下期	計	上実績	下予想		計 a			
					10-12月	1-3月				
ケミカル	2,933	3,288	6,221	3,650	1,899	1,881	3,780	7,430	7,410	20
住宅	1,577	2,320	3,897	1,735	905	1,490	2,395	4,130	4,130	-
医薬・医療	563	569	1,132	578	305	267	572	1,150	1,170	-20
繊維	487	525	1,012	546	271	263	534	1,080	1,070	10
エレクトロニクス	685	742	1,427	832	384	384	768	1,600	1,660	-60
建材	246	224	470	234	137	119	256	490	490	-
その他*	96	80	176	74	37	39	76	150	150	-
合 計	6,586	7,749	14,336	7,648	3,939	4,443	8,382	16,030	16,080	-50

* 10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。

† 2010年11月2日発表の業績予想

セグメント別営業利益

(億円)

	09年度			10年度今回予想					10年度 前回予想 [†] b	増減 a-b
	上期	下期	計	上実績	下予想		計 a			
					10-12月	1-3月				
ケミカル	115	146	261	373	166	96	262	635	590	45
住宅	41	212	253	101	79	150	229	330	330	-
医薬・医療	34	6	40	42	35	-1	33	75	75	-
繊維	-29	1	-28	23	13	4	17	40	35	5
エレクトロニクス	28	44	72	107	32	11	43	150	155	-5
建材	6	6	12	11	13	1	14	25	20	5
その他*	10	8	18	8	2	5	7	15	15	-
消去又は全社	-26	-26	-53	-30	-28	-12	-40	-70	-70	-
合計	180	397	576	635	310	255	565	1,200	1,150	50

* 10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。また、「サービス・エンジニアリング等」セグメントに含めていた一部の連結子会社の営業費用を10年度第1四半期決算より「消去又は全社」に移管。(売上高への影響はなく、営業利益への影響は軽微。)

† 2010年11月2日発表の業績予想

3. 参考資料

セグメント別売上高推移

(億円)

	09年度				10年度			10年度
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q 予想
ケミカル	1,329	1,603	1,590	1,698	1,784	1,866	1,899	1,881
住宅	585	992	960	1,360	645	1,090	905	1,490
医薬・医療	285	278	296	273	287	290	305	267
繊維	224	263	259	266	265	281	271	263
エレクトロニクス	315	370	374	368	409	422	384	384
建材	116	130	124	101	110	124	137	119
その他*	39	57	38	43	35	39	37	39
合 計	2,893	3,693	3,641	4,109	3,535	4,113	3,939	4,443

* 10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。

セグメント別営業損益推移

(億円)

	09年度				10年度			10年度 4Q 予想
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	
ケミカル	22	93	103	42	153	220	166	96
住宅	-30	71	67	145	-9	110	79	150
医薬・医療	31	3	29	-23	33	8	35	-1
繊維	-15	-14	-0	1	12	11	13	4
エレクトロニクス	-6	34	26	18	52	55	32	11
建材	-0	6	11	-5	3	8	13	1
その他*	4	6	1	7	3	5	2	5
消去又は全社	-10	-17	-17	-9	-20	-10	-28	-12
合計	-3	183	220	177	228	407	310	255

*10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。また、「サービス・エンジニアリング等」セグメントに含めていた一部の連結子会社の営業費用を10年度第1四半期決算より「消去又は全社」に移管。(売上高への影響はなく、営業利益への影響は軽微。)

セグメント別海外売上高 (9ヶ月累計・4－12月比較)

AsahiKASEI

(億円)

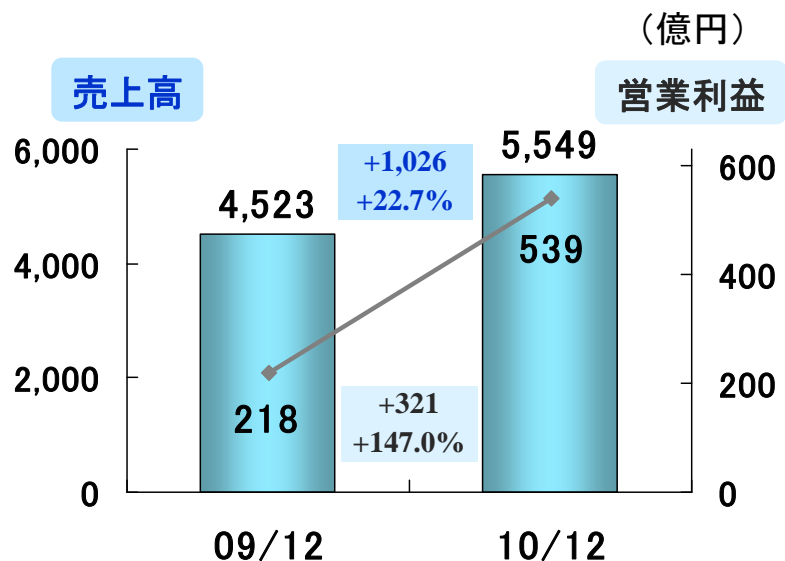
	09年度4-12月			10年度4-12月			増減	
	売上高	海外売上高		売上高	海外売上高		海外売上高	
		金額	比率(%)		金額	比率(%)	金額	伸び率(%)
ケミカル	4,523	1,740	38.5	5,549	2,246	40.5	506	29.1
住宅	2,537	—	—	2,640	—	—	—	—
医薬・医療	859	188	21.9	883	202	22.9	13	7.2
繊維	746	238	31.9	817	284	34.8	46	19.4
エレクトロニクス	1,059	481	45.4	1,216	602	49.5	121	25.2
建材	369	—	—	371	—	—	—	—
その他*	134	18	13.5	111	7	6.2	-11	-62.0
合計	10,227	2,665	26.1	11,587	3,341	28.8	676	25.3
東アジア地域†への売上高		1,743	17.0		2,190	18.9	448	25.7

<参考>

ホームズ・建材を除いた売上高 7,320 2,665 36.4 8,576 3,341 39.0

* 10年度第1四半期決算より、従来の「サービス・エンジニアリング等」セグメントを「その他」に名称変更。

† 中国、韓国、台湾



<概況>

・汎用系事業

<モノマー系事業>

アクリロニトリルやアジピン酸などが好調なアジア需要に支えられ、市況が高水準で推移したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

<ポリマー系事業>

自動車や家電向けの需要回復により販売量が増加したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

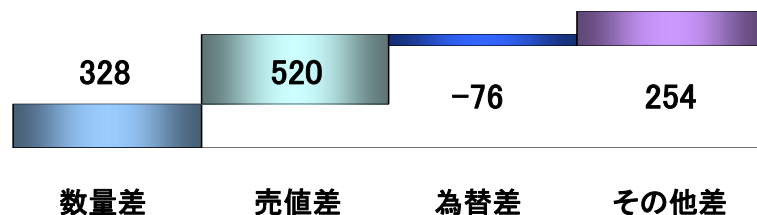
・高付加価値系事業

「サランラップTM」などの消費材事業や添加剤事業などが堅調に推移したことから、前年同期比増収、増益となった。

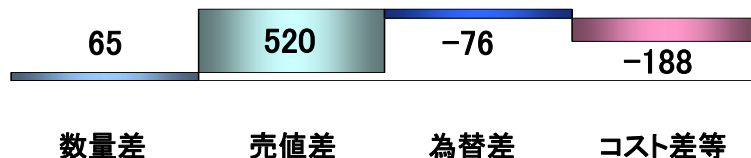
<トピックス>

- ・水島地区エチレンセンター統合の共同出資会社を設立し、エチレンセンターの一体運営を開始することについて(株)三菱ケミカルホールディングスと基本合意。(5月、2011年4月より共同出資会社事業開始予定)
- ・中国杭州市のアジア最大の膜式浄水設備に水処理用中空糸ろ過膜「マイクロザTM」の採用が決定。(6月)
- ・アンモニア、ベンゼンの生産停止を決定。(8月、2012年定修時期(3~4月)停止予定)
- ・シンガポールでの溶液重合法SBRプラントの建設を決定。(10月)
- ・韓国でのアクリロニトリルの増設を決定。(2011年1月)

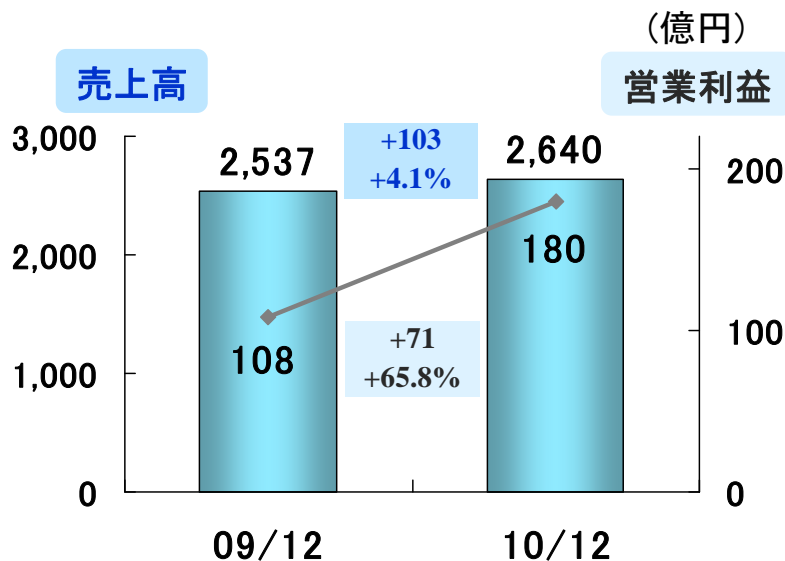
売上高増減分析



営業利益増減分析



住宅概況(4-12月累計)(1)



<概況>

- ・分譲マンションの引渡戸数が減少したものの、好調な受注実績を反映し、戸建住宅「ヘーベルハウス™」や集合住宅「ヘーベルメゾン™」の引渡戸数が増加したことや、リフォーム事業などの住宅周辺事業が堅調に推移したことから、前年同期比増収、増益となった。
- ・建築請負事業の受注高は、新商品の発売や政府の住宅取得促進施策の効果などにより、順調に受注戸数を伸ばし、10-12月で前年同期比14.2%、4-12月累計で前年同期比16.6%の大幅増となった。

<トピックス>

- ・「孫共育」をキーワードに、親世帯・子世帯が自立しながら交流と協力を促す、新・二世帯住宅「ヘーベルハウス™ i_co_i」(イコイ)を発売。(5月)
- ・家族の住み継ぎを想定した新たな賃貸併用二世帯住宅「ヘーベルハウス™ RONDO」(Rond)を発売。(7月)
- ・居心地の良いリビング空間を提案する「ヘーベルハウス™ F.lower living(フラワーリビング)のある家」を発売。(8月)
- ・都市向けに一層の進化を遂げた3階建て住宅「ヘーベルハウス™ FREX monado」(フレックス モナド)を発売。(11月)
- ・旭化成住工(株)にて「ヘーベルハウス™ フレックス」に使用する鉄骨躯体の生産能力を増強。(12月)

事業別差異分析

(億円)

	09/12(a)		10/12(b)		差異(b-a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負	1,748		1,927		178	
分譲	225		121		-105	
他	13		19		6	
小計	1,987	63	2,066	132	79	69
住宅周辺	551	45	574	47	24	2
合計	2,537	108	2,640	180	103	71

※上記事業別業績数値は参考情報として簡便計算で算出

住宅(2)

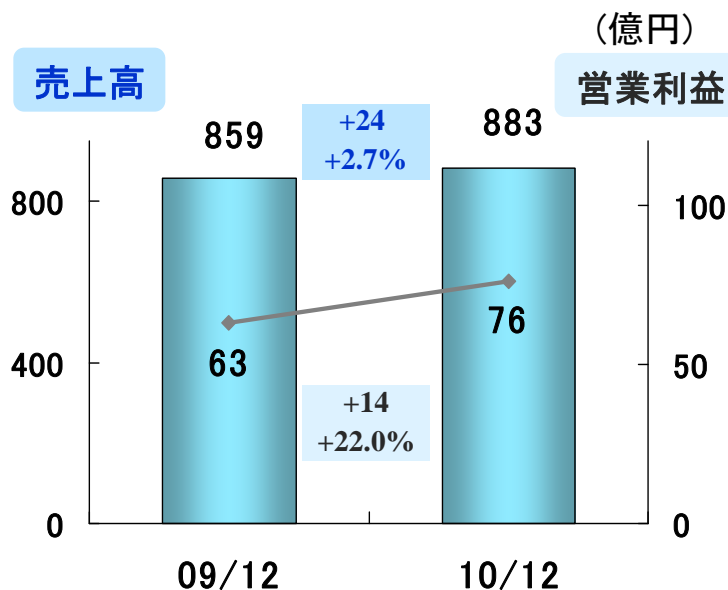
売上高、受注高の状況

(単位:億円、()内は対前年同期比)

		請負受注高	請負売上高	分譲売上高	他*	単独計	関係会社等	連結計	受注残
06	上期	1,561 (3.7%)	1,347 (▲3.9%)	60 (▲70.9%)	5	1,411 (▲12.4%)	280 (15.7%)	1,691 (▲8.7%)	3,253
	下期	1,473 (▲9.6%)	1,829 (2.0%)	230 (75.8%)	5	2,064 (6.9%)	302 (15.3%)	2,366 (7.9%)	2,898
	通期	3,034 (▲3.2%)	3,176 (▲0.6%)	289 (▲13.8%)	10	3,475 (▲1.9%)	582 (15.5%)	4,057 (0.3%)	
07	上期	1,536 (▲1.5%)	1,312 (▲2.6%)	50 (▲16.5%)	4	1,366 (▲3.2%)	303 (8.2%)	1,669 (▲1.3%)	3,123
	下期	1,525 (3.5%)	1,659 (▲9.3%)	195 (▲15.1%)	5	1,860 (▲9.9%)	333 (10.3%)	2,193 (▲7.3%)	2,988
	通期	3,061 (0.9%)	2,971 (▲6.5%)	245 (▲15.4%)	10	3,225 (▲7.2%)	637 (9.5%)	3,862 (▲4.8%)	
08	上期	1,571 (2.3%)	1,294 (▲1.4%)	60 (19.7%)	7	1,360 (▲0.4%)	343 (13.2%)	1,703 (2.0%)	3,266
	下期	1,339 (▲12.1%)	1,779 (7.2%)	240 (22.8%)	9	2,027 (9.0%)	369 (10.8%)	2,396 (9.3%)	2,826
	通期	2,911 (▲4.9%)	3,073 (3.4%)	299 (22.2%)	15	3,387 (5.0%)	712 (11.8%)	4,099 (6.1%)	
09	上期	1,546 (▲1.6%)	1,158 (▲10.5%)	52 (▲12.6%)	8	1,219 (▲10.4%)	358 (4.4%)	1,577 (▲7.4%)	3,213
	3Q	685 (14.6%)	590 (▲21.9%)	173 (▲3.2%)	5	768 (▲18.2%)	193 (5.4%)	960 (▲14.3%)	3,308
	下期	1,523 (13.7%)	1,665 (▲6.4%)	269 (12.4%)	11	1,945 (▲4.1%)	375 (1.7%)	2,320 (▲3.2%)	3,071
	通期	3,069 (5.4%)	2,823 (▲8.1%)	321 (7.4%)	19	3,164 (▲6.6%)	734 (3.0%)	3,897 (▲4.9%)	
10	上期	1,817 (17.6%)	1,255 (8.3%)	94 (79.8%)	11	1,360 (11.6%)	375 (4.8%)	1,735 (10.0%)	3,634
	3Q	782 (14.2%)	671 (13.8%)	27 (▲84.5%)	8	706 (▲8.0%)	199 (3.4%)	905 (▲5.7%)	3,745
	下予	1,622 (6.5%)	1,775 (6.6%)	206 (▲23.5%)	14	1,995 (2.6%)	400 (6.4%)	2,395 (3.2%)	3,481
	通期予想	3,440 (12.1%)	3,030 (7.3%)	300 (▲6.6%)	25	3,355 (6.1%)	775 (5.6%)	4,130 (6.0%)	

* 他: 損害保険販売手数料収入等

医薬・医療概況(4-12月累計)(1)



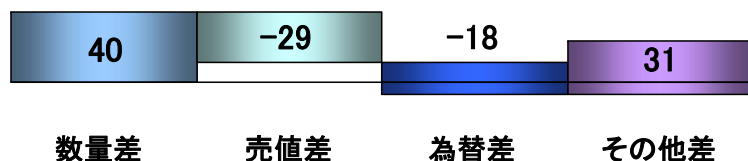
<概況>

- ・医薬事業は、血液凝固阻止剤「リコモジュリンTM」が大きく売上を伸ばし、薬価改定の影響を受けた排尿障害改善剤「フリバスTM」なども販売量を増やしたことから、前年同期比増収、増益となった。
- ・医療事業は、ポリスルホン膜人工腎臓「APSTM」や血液浄化治療(アフェレシス)関連製品の販売量が増加したものの、各製品が円高の影響を強く受けたことに加え、ウイルス除去フィルター「プラノバTM」の販売が低調に推移したことなどにより、前年同期比増収、微減益となった。

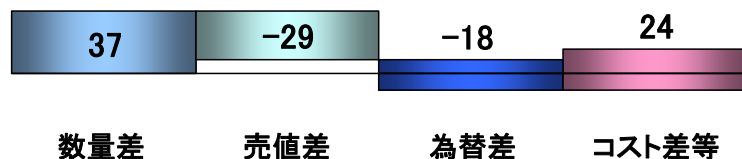
<トピックス>

- ・脳梗塞急性期治療薬「AT-877注」の第Ⅲ相臨床試験の開鍵を実施。有効性について期待した成績が得られず。(4月)
- ・「プラノバTM」の組立工場竣工。(5月)
- ・変形性関節症治療薬ポリ硫酸ペントサンの前期第Ⅱ相臨床試験を開始。(5月)
- ・スイス・ノバルティスファーマ社とビスホスホネート剤「ゾレドロン酸」のライセンス契約を締結し、日本における独占的開発・販売権を取得。(6月)
- ・米サーモジェネシス社とのライセンス契約を改訂。自己フィブリン糊調製システムの国内での独占製造権等を取得。(6月)
- ・バイオ医薬品製造向け新商品の中空糸膜「BioOptimalTM MF-SL」を発売。(8月)
- ・医療材料の研究開発を行う基盤材料研究所の新設を決定。(8月)
- ・新アフェレシス工場竣工。(9月)
- ・(株)メテクの100%子会社化を実施。(10月)
- ・骨粗鬆症治療薬MN-10-T(テリパラチド酢酸塩(PTH)「テリボンTM」)の国内製造販売承認申請。(10月)
- ・コンタクトレンズおよび関連製品の販売、研究・開発事業を米クーパービジョン社へ譲渡。(12月)

売上高増減分析



営業利益増減分析



1. 売上高内訳

(億円)

		09年度			10年度	
		10-12月	4-12月	年間	10-12月	4-12月
医薬系	医薬	144	411	534	151	420
	その他	17	57	74	14	50
	計	160	468	608	165	470
医療系*		135	391	524	140	413
医薬・医療 計		296	859	1,132	305	883

* 旭化成クラレメディカル、旭化成メディカル、及びその関係会社の合計

<主要医薬品の国内売上高>

(億円)

	09年度			10年度	
	10-12月	4-12月	年間	10-12月	4-12月
エルシトニン TM	37	109	140	34	103
フリバス TM	38	106	137	38	105
ブレディニン TM	18	51	65	18	50
トレドミン TM	13	39	50	9	27
エリル TM	4	11	14	4	11
リコモジュリン TM	4	9	12	14	30

2. 研究開発の状況

		開発コード・剤型 (一般名)	区分	薬効・分類	適応症
国内	申請中の品目	MN-10-T注 (テリパラチド酢酸塩)	新成分新薬	副甲状腺ホルモン: PTH	骨粗鬆症
	フェーズⅢの品目	AK-120錠 (ファムシクロビル)	適応拡大	抗ヘルペスウイルス剤	単純疱疹
	フェーズⅡの品目	AT-877錠 (ファスジル塩酸塩水和物)	適応拡大 剤型追加	ローキナーゼ阻害剤	肺高血圧症
		AK150注 (ポリ硫酸ペントサンナトリウム)	新成分新薬	変形性関節症治療薬	変形性関節症
海外	フェーズⅡの品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	新成分新薬	血液凝固阻止剤	DICを伴う敗血症
		AK106	新成分新薬	抗炎症剤	関節リウマチ

探索・基礎研究

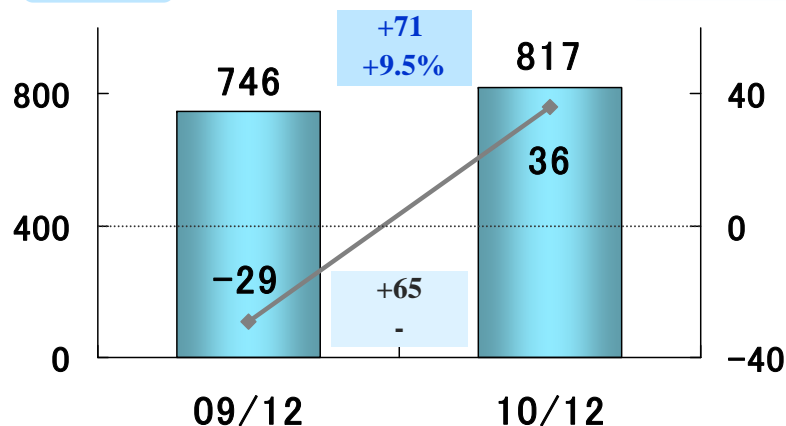
成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科領域や泌尿器領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。

繊維概況(4-12月累計)

(億円)

売上高

営業利益



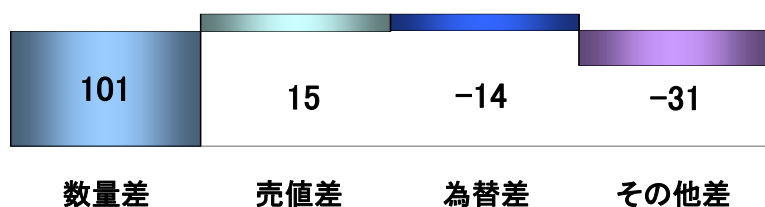
<概況>

円高や原燃料価格高騰の影響を受けたものの、再生セルロース繊維「ベンベルグ™」が販売量を大幅に増加し、ナイロン66繊維「レオナ™」やポリウレタン弾性繊維「ロイカ™」、スパンボンドなどの不織布事業も好調に推移したことなどから、前年同期比増収、営業損益は黒字転換となった。

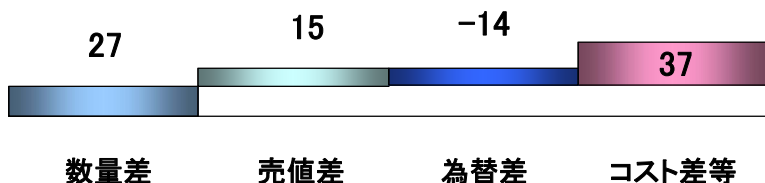
<トピックス>

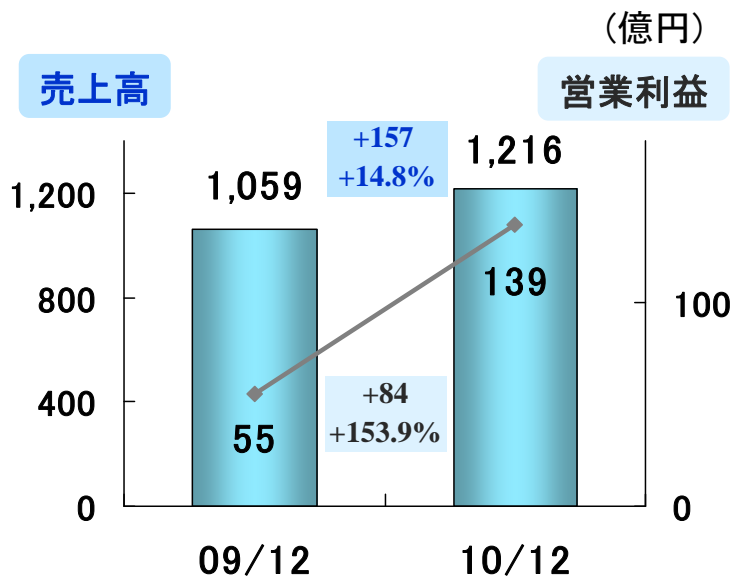
- ・帝人ファイバー(株)との学校体操服の循環型リサイクルプロジェクトの展開。(4月)
- ・電子機器向けに特殊不織布「プレシゼ™」を使用した、薄型・軽量ノイズ抑制シート「PULSHUT™(パルシャット™)」の販売を開始。(7月)

売上高増減分析

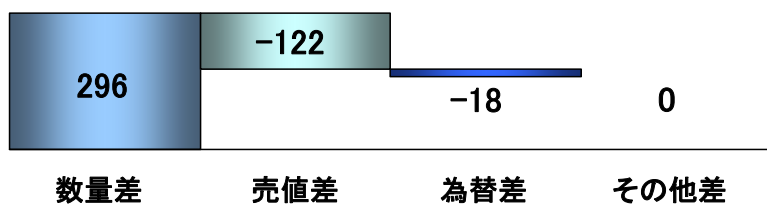


営業利益増減分析

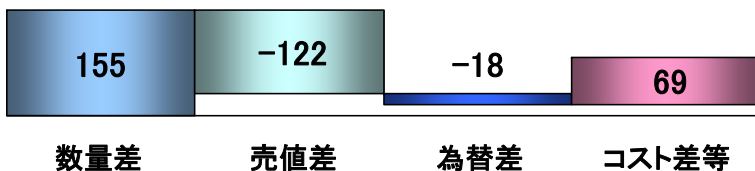




売上高増減分析



営業利益増減分析



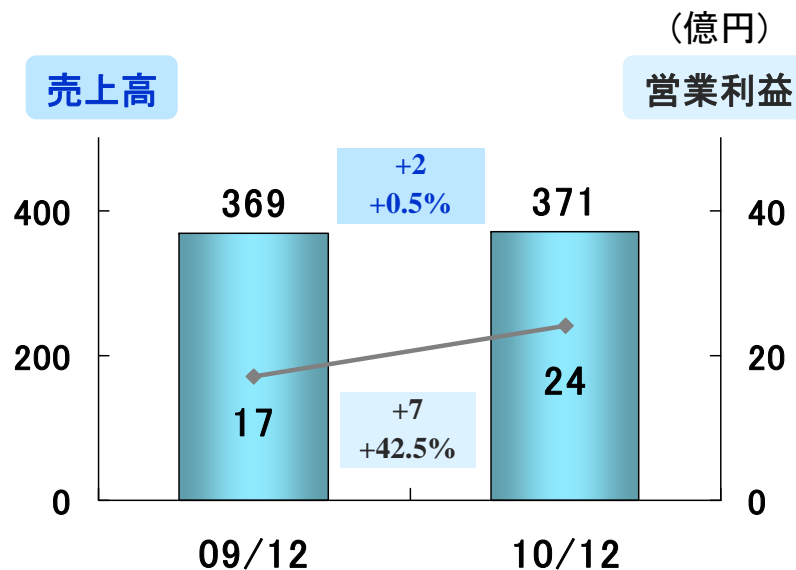
<概況>

- ・電子部品系事業は、海外向けを中心に、スマートフォンをはじめとする携帯端末向けLSIが大幅に販売量を伸ばし、前年同期比増収、増益となった。
- ・電子材料系事業は、リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア™」や感光性ドライフィルムレジストなどの販売量が増加したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

<トピックス>

- ・「ハイポア™」の日向での新工場の竣工。(4月)
- ・従来品から2分の1以下の小型化を実現した、携帯機器用3軸電子コンパス新製品を発売。(4月)
- ・旭化成東光パワーデバイス(株)の100%子会社化を前倒しで実施。(10月)
- ・半導体用途のArF(フッ化アルゴン)露光対応ペリクルの上市及び半導体用ペリクルの生産能力増強。(10月)

建材概況(4-12月累計)



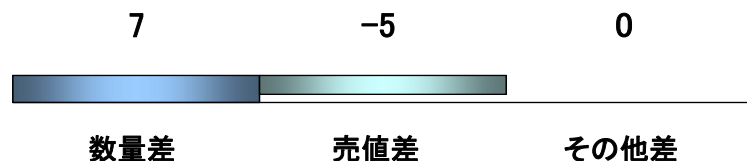
<概況>

軽量気泡コンクリート「ヘーベルTM」の販売量が非住宅用途向けを中心に減少したものの、住宅エコポイントなどの政策を背景に、高性能断熱材「ネオマTMフォーム」が販売量を伸ばした。また、中小型パイル工法「EAZETTM」「ATTコラムTM」の新規用途が好調に推移し、鉄骨構造資材が露出型弾性固定柱脚工法「ベースパックTM」を中心に販売量を伸ばしたことなどにより、前年同期比増収、増益となった。

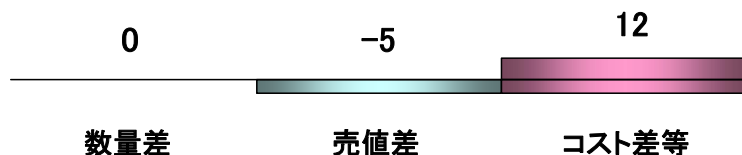
<トピックス>

- ・木造住宅床用断熱材「JupiiTM」(ジュピー)の販売開始。(10月)

売上高増減分析



営業利益増減分析



業績予想の適切な利用に関する説明、 その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。